

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより

NO. 9

R5. 4. 19

ドリーム&チャレンジ！～あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん～

(文責:校長 菅家 篤)

2年生の はき物そろえ



昨日の全校朝の会で、「世界一 はきものがきれいにそろう学校にしましょう！」と子どもたちに話しましたが、その後、早速2年生が、担任の先生の指導の下、昇降口の靴箱に、靴をきれいにそろえていました。

右の写真は、靴をそろえ終わった靴箱の様子です。見ていてだけで気持ちがいいですね！



「育てる」・・・親の位置は？

「育てる」ということを思い描く時、私たちはつい、自分をゴールの側に置いてしまいます。一歩ずつこっちに向かってくる子どもをゴールで待ち構え、正しい道を進むように導くことが、「育てる」ことなのだと思います。

でも、本当はそうじゃないのかもしれませんが。大人も子どもも、「育てる」側も「育つ」側も、みんな「生まれて初めて」の日々を生きています。大人は自分自身の「育つ」を終えてから子どもを「育てる」ことを始めるわけではありません。私たち大人も、子どもを育てながら育っています。人生の長い道のりの途上にいることは、大人も子どもも同じではないでしょうか。

そうであれば、試行錯誤もあるでしょう。失敗して悔やむことだってあるはず。構わないではありませんか。そんなの当たり前です。子育ての「正解」を見つけれない自分を責めて、悩み苦しんでいる親がたくさんいる時代だからこそ、あえてそう伝えたいのです。

人生を何度でもやり直せるのなら「正解」の数は増えるでしょう。でも、それができないからすべては「生まれて初めて」であり、「最初で最後」だから、生きることはちょっと切なくて、すごく愛おしいと思うのです。

私も皆さんも、今年、「生まれて初めて」の歳を過ごします。そして、子どもたちもそれぞれ「生まれて初めて」の歳を過ごします。2023年のカレンダーに、家族の「生まれて初めて」の日々は、どんな風に刻まれていくのでしょうか。ぶつかったり、すれ違ったり、悔やんだり…。家族で笑い合える日が、一日でも多ければいいなと願っています。